

カタシログケ科

ヒメイサワゴケ

Syrrhopodon fimbriatulus Broth. et Par.

兵庫県ランク… B

環境省ランク… —

■ 県内分布

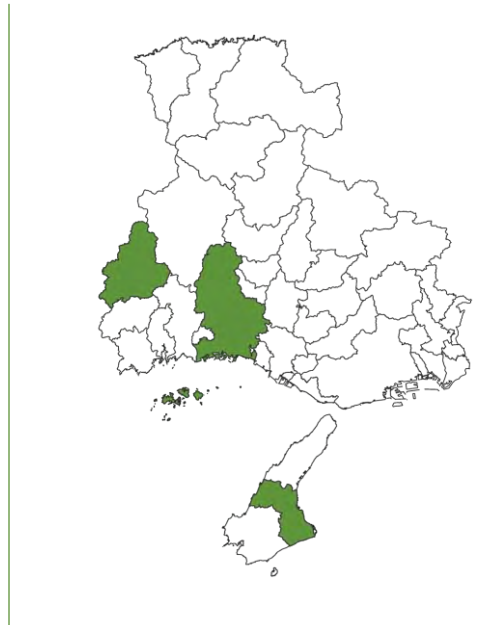
姫路市、佐用町、洲本市

■ 国内分布

本州、四国、九州

■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界
		希少
		○



■ 特記事項

日本国内では北限に近い。佐用町では2018年に確認。洲本市竜水寺では旺盛な生育を確認。2020年版でAランクからBランクに変更した。



写真提供：今川邦彦

■ 保護上の留意点

—

■ 種の概要

小型で、葉は乾くと内曲し褐色になる。茎は長さ2-10mm、葉は長さ1-3mm、広披針形で先は幅広く尖る。葉縁に1-2細胞列の透明な舷がある。葉鞘部の肩に単細胞の長い透明な刺がある。中肋は強壯で葉先に達し、背面中部には多くの尖った刺がある。葉身細胞は長さ8-10μm、方形で背面に1個の高いパピラがある。蒴柄は長さ3-4mmで褐色。蒴は直立し、相称、蒴齒は短く、パピラで被われる。葉先にしばしば紡錘形の無性芽をつける。暖地の杉の樹皮の割れ目や根元に生育する。